



珍しいオキサンショウウオの成体

総合誌

隠岐の島

おきのしま

OKINOSHIMA TOWN PUBLIC INFORMATION

◆人口 16,994(-4)人 男 8,055(-4)人 女 8,939(+0)人 世帯数 7,375(+6)戸

(平成18年11月1日現在、カッコ内は前月比)



● 隠岐の島町老人保健福祉計画など 3 計画を策定

みんなが安気に暮らせるまちへ

「隠岐の島町老人保健福祉計画」など3計画を策定



隠岐の島町では、新たに3つの計画が策定され、議会9月定例会で可決されました。これらは今後の町政の基本的な方向を示すものであり、よりよい隠岐の島町、住民生活の向上のための道しるべとなるものです。今回策定されたのは「隠岐の島町老人保健福祉計画」、「隠岐の島町男女共同参画計画」、「隠岐の島町障害者計画」です。この3つの計画についての概要をご紹介します。

隠岐の島町老人保健福祉計画

わが国の高齢化は急速に進んでおり、近い将来、世界のどの国も未だ経験していない水準に達するものと予想されます。本町の高齢化率は、国や県の平均を大きく上回り31・4%となっており、県内でも特に高齢化の進行が顕著な地域であることを意味しています。

こうした社会情勢において、高齢者が住み慣れた自宅や地域で安心して生活し続けていくためには、地域における支え合いや見守りなどが重要な役割を果たします。そのため、高齢者福祉の課題は、障害者福祉や次世代育成など他の福祉的課題と総合的に捉えながら、「地域福祉」の一環として捉えて推進していくことが重要となってきています。

一方、高齢者介護を社会的に支える仕組みとして平成12年度から実施され

てきた介護保険制度は、創設から6年を経過し既に定着しつつありますが、要介護等認定者の増加や給付費の増大などの新たな課題が明らかになってきており、これらを受けて国は平成17年に介護保険制度の改正を行っています。

こうした制度の見直しを踏まえ、本町において必要な体制を整備していくことが必要です。

■計画の基本理念

この計画は、高齢者の心身の健康の保持および生活の安定のために必要な対策を講じることが目的とするものです。「隠岐の島町まちづくり計画」の基本目標でもある「みんなで支えるやさしい福祉のまち」を基本理念とし、さまざまな施策の充実を図ります。

■計画の期間

この計画は平成18年度から平成20年度までの3カ年計画です。

■計画の体系

計画は次の体系となっており、項目ごとにそれぞれ重点課題、施策の方向が定められています。

1. 心と体の健康づくりの支援
2. 介護を予防し、健康で自立した生活への支援
3. 介護保険の充実と地域ケアの推進
4. 利用者を尊重した質の高いサービス提供の実現
5. 地域ぐるみで取り組む福祉の充実

■お問い合わせ

隠岐の島町老人保健福祉計画の詳しい内容についてのお問い合わせは、役場高齢者福祉課高齢者福祉係（電話2・8562）までお願いします。

隠岐の島町男女共同参画計画

『男女共同参画社会』とは、男女が互いに人権を尊重し、社会の対等な構成員として、自らの意思によって社会のあらゆる分野における活動に参画する機会が確保され、共に責任を負うべき社会です。男女が性別にとらわれることなく一人の人間として、将来に夢を持ち、心豊かに充実した人生を送ることができる社会です。

家庭のよきパートナー・職場でのよきパートナー・地域でのよきパートナーであるための、意識の改革から行動へ、人づくりからまちづくりへとつなげるために男女共同参画社会の実現に向けて取り組みます。

パートナーが輝くために、それぞれの協力的体制づくりへの意識改革が必要です。

■基本理念

- ・ひとりひとりを大切に
- ・男女が多様な生き方を選び責任のある生活ができるまち

■計画の性格

●この計画は、隠岐の島町の『男女共同参画社会の形成』に取り組むための

指針とすべく策定したものです。

●この計画は、『男女共同参画に関する町民の意識・実態調査』の結果や、隠岐の島町男女共同参画検討会議の委員のみなさまのご意見を踏まえて策定いたしました。

●この計画は、男女共同参画社会基本法を念頭に、国や県の男女共同参画計画を勘案して隠岐の島町の基本理念等を定めたものです。隠岐の島町に住むすべての人を対象とし『ひとりひとり大切に』という言葉に様々な思いを凝縮しました。

また、「隠岐の島町新町建設計画」・「隠岐の島町人権施策推進基本方針」との整合性を保ちながら推進していくこととします。

■計画の期間

計画の期間は、平成18年から平成22年までの5年間とします。社会の動向や情勢の変化を考慮して、必要に応じて見直しを行います。

■基本目標

- I 家庭生活と他の活動の両立
 1. 女性が安心して出産し、夫婦で子育てができる環境作り
 2. 介護と就労の両立支援
 3. 家庭生活・地域活動における男女共同参画の促進
- II 社会制度・慣行など、固定観念の見直し
 1. 地域・職場・教育の場での男女共同参画の推進
- III 人権問題としての女性問題の解決

1. 女性に対する暴力・差別の根絶に向けて
- IV エンパワーメントをめざそう
 1. 自己学習の情報提供
 2. 男女共同の意識づくり
 3. 町政における男女共同参画の推進

■お問い合わせ

隠岐の島町男女共同参画計画の詳しい内容についてのお問い合わせは、役場企画財政課企画調整係（電話2・8566）までお願いします。

隠岐の島町障害者計画

■計画の基本理念

この計画は障害のある人が人生のあらゆる段階において、その人が持っている自らの能力を発揮し、その自立性・選択性や社会参加といった人間本来の生き方の回復を目指す「リハビリテーション」と障害のある人もない人も共に、社会・経済・文化等の幅広い分野にわたって活動することが本来の姿であるという「ノーマライゼーション」の理念のもとに、共に支え合い誰もが安心して暮らすことが出来る地域社会の実現を基本理念とします。

■計画の性格

「隠岐の島町障害者計画」は、すでに策定されている「隠岐の島町次世代育成支援行動計画」及び、今回策定された「老人保健福祉計画」とともに地域福祉を推進する総合的な

「地域福祉計画」に盛り込まれるものであり、これをもって隠岐の島町における障害者施策推進の基本的な方向を示すものであります。また、障害者サービスの目標等は、「障害福祉計画」で明らかにします。

■計画の期間

この計画の期間は平成18年度から平成27年度までの10年間とし、社会情勢の変化等により必要な場合は、見直しを行います。

■施策の方向

- 計画の基本理念である「ノーマライゼーション」と「リハビリテーション」を念頭におき、つぎの7項目を重点課題とし、基本的視点にたつて施策の推進に努めます。
1. 啓発・広報の推進
 2. 保健・医療・教育基盤の充実
 3. 福祉サービスの充実
 4. 相談支援体制の充実
 5. 就労への支援
 6. スポーツ文化活動への参加促進
 7. とりまく環境の充実

■お問い合わせ

隠岐の島町障害者計画の詳しい内容についてのお問い合わせは、隠岐の島町役場健康福祉課福祉係（電話2・8561）までお願いします。

隠岐の島町ホームページでも各計画の全文を閲覧いただけます。

<http://www.town.okinoshima.shimane.jp/>

隠岐の島 NEWS FLASH

平成十八年 秋の叙勲・褒章 隠岐の島町から4名が受章

■議員として町政発展に尽力

原 茂憲（はらしげのり）さん
（旭日双光章受章）

原さんは、昭和53年に西郷町議会議員に当選して以来、合併後の平成17年4月まで28年間にわたり町政の発展に尽力されました。

■消防団の発展に寄与

池田立信（いけだたつのぶ）さん
（瑞宝単光章受章）

池田さんは、昭和27年に西郷町消防団に入団以来、53年間にわたり、健全な住民生活を守るため、消防団の育成と組織強化に努められました。

■農業の振興に尽力

松本福二（まつもとふくじ）さん
（黄綬褒章受章）

松本さんは、昭和39年に農業協同組

合に入組以来、参事・組合長などを歴任し、農業の近代化や生産拡大に尽力されました。

■青少年等の更生を支援

常角千恵子（つねずみちえこ）さん
（藍綬褒章受章）

常角さんは、昭和60年より21年間にわたり、保護司として法務大臣の委嘱を受けて犯罪や非行に陥った人の更生を支援してこられました。



原 茂憲さん
（旭日双光章）



池田 立信さん
（瑞宝単光章）



松本 福二さん
（黄綬褒章）



常角 千恵子さん
（藍綬褒章）

平和の思いを新たに 隠岐の島町戦没者追悼式

10/29



慰霊塔は東郷地区遺族会会長の土築啓一さんから寄贈されたものです。

10月29日（日）、隠岐島文化会館で「隠岐の島町戦没者追悼式」が行われ、過去の戦争によって命を失った方々の遺族など210名が参加し、戦没者の冥福と今後の平和を祈りました。

第二次世界大戦を初めとする過去の戦争において、当町出身の893名の方々が、祖国日本を思い亡くなられました。戦後61年の歳月が経過し、戦争の記憶すら遠ざかりつつある昨今ですが、今私たちが享受している平和と繁栄が、その方々の尊い犠牲の上に築かれているということに思いを馳せ、この悲惨な戦争を二度と起こしてはならないと誓いを新たにしました。

島での出産に貢献 船津医師に感謝状

10/31

8月末から10月末までの期間、隠岐病院に赴任し産婦人科で診療に当たられていた船津雅幸医師が、このたび静岡県に帰られることになりました。島で出産ができない状況を経験して知り、隠岐のために役に立てればと来島、島での出産のために尽くされた船津医師。この間、当町で数名の新しい命が誕生しました。

10月31日（火）その船津先生に対し、隠岐の島町と隠岐の島町議会より感謝状が贈呈されました。贈呈の後、先生は「この隠岐で多くの貴重な経験をさせていただいた。今後の医療業務に活かしたい。」と語っておられました。



町長より船津先生に感謝状を贈呈

大勢で賑わう おまつりイベント大盛況

11/18



大勢の来場客で大いに賑わいました

■みんなの作業所まつり

11月3日（金）、心地よい秋晴れの中、岬町の『みんなの作業所』で、岬ふれあいまつりが開催されました。

今回で17回を数えるこのまつりは、作業所への理解を深め、地域の方たちとのふれあいを目的として行われているようで、毎年大勢の来場客で賑わいます。

子どもからお年寄りまで、幅広い来場者に笑顔が絶えなかったところを見

ると、十分なふれあい・交流が行えたのではないのでしょうか。

■隠岐養護まつり

11月18日（土）には、隠岐養護学校で、隠岐養護まつりが開催されました。

高等部の隠岐太鼓公演や小・中学部の音楽発表、東郷高倉会による神楽公演と、見て聞いて楽しめるイベントが盛りだくさん。日頃の練習の成果が十分に発揮された見事な発表・公演でした。

また、手作りの野菜やキムチ、皿などの焼き物、さをり織りなどの即売、その他にもバザーや保護者による軽食コーナー、水産高校の缶詰販売など、多彩な内容で時間の経過を忘れさせる演出が数多くありました。



“真剣そのもの”さをり織りのコーナー

未来に残そう島の緑！ 水と緑の森づくり植樹祭

11/8



那久小児童や地元住民など、一丸となって頑張りました

11月8日（水）、さわやかな秋晴れの下、隠岐の島町那久地内林道皆市線沿いで植樹活動が行われました。

那久小学校児童を始め、地元住民や林業関係団体など、約40名が参加、全員が力を合わせ、約0.1haに3000本の4種類の苗木を植樹しました。

この植樹により、20、30年後には、針葉樹と広葉樹が混じり合い、多くの虫や鳥の集まる緑豊かな森になるということです。参加した子どもたちも、立派に育った木を思い描きながら、一生懸命に汗を流していました。

晩秋の隠岐を疾走 全隠岐駅伝競技大会

11/12

秋も深まる11月12日（日）、第58回全隠岐駅伝競走大会が行われ、中学生から一般まで37チーム（271人）が健脚を競いました。

午前8時40分、中学男子・一般男子はホテル海音里前を、中学女子・一般女子・中学混成・職域は水若酢神社前をそれぞれ勢い良くスタート。朝の日差しを浴びながら、原田・有木・東郷を経由しゴールの運動公園グラウンドをめざし疾走しました。早朝にもかかわらず沿道のところどころで応援する人の姿がみられ、それに応える選手にも思わず笑顔がこぼれていました。



水若酢神社前を勢い良くスタート！



鯛釣り競争

11月1日午前10時より、卯敷集会所において高齢者運動会が行われました。布施・飯美・卯敷の各地区から34名もの参加があり、大変盛り上がりました。はじめに、隠岐の島警察署から振り込

■高齢者運動会 開催！

布施公民館

公民館コーナー



スカットボール

め詐欺などの注意を呼びかける話があり、役場布施支所の保健師さんと一緒に準備体操してから競技を開始しました。プログラムは7種目で、ボーリング・スカットボール・鯛釣り競争など、チームの代表が出演する競技や、全員参加のジャンケン大会などを行いました。競技をする人も周りで応援する人も楽しい雰囲気の中で過ごすことができ、みなさんとても満足そうでした。競技終了後には、みんなで一緒に昼食を食べました。違う地区の人同士で話をする機会もでき、交流の場としても大変有意義な行事となりました。



皆さん熱心に鑑賞していました

10月22日(日)都万中学校体育館で、都万地区文化祭を開催しました。日頃の各地区分館の活動や保育所、小中学校の活動の紹介を中心に、生け花教室、習字教室、写真クラブ等の地域の学習グループによる色とりどりの作品の展示が行われました。来場者は、都万地区からはもちろん、他地区の方も多く、年々増える傾向にあるようです。今後も地域のみなさんの「日頃の活動の成果を発表する場」として続けていきたいと思っております。当日は仁万の里でも「里まつり」が開催され、一段と賑やかな1日となりました。

■都万地区文化祭を開催しました

都万公民館



里まつりもにぎやかでした



多彩な作品が展示されました



四・季・菜レシピ



季節の野菜の健康レシピ

隠岐の島町では、『隠岐の島町食生活改善推進協議会』と協力し、季節の野菜を使ったレシピを考案しました。第1回目の掲載として2品をご紹介します。今後も総合誌でご紹介していきますので楽しみに！

隠岐の島町ホームページでも季節の野菜を使ったレシピをたくさん紹介しています。あわせてご覧いただき、ご活用下さい。

隠岐の島町ホームページアドレス <http://www.town.okinoshima.shimane.jp/>
お問い合わせ先：隠岐の島町役場 健康福祉課 健康係 Tel(08512)2-8561

鶏ときのこのふんわり蒸し



熱量	たんぱく質	脂質	塩分	カルシウム
140kcal	18.2g	13.7g	18.2g	1.0mg

※ 1人当り栄養価

このレシピで取れる野菜の量 約70g
一日に必要な野菜の量 350g



材料 (2人分)

鶏ささ身…120g しめじ…1パック
にんじん…30g ニラ…30g ごま油…小さじ1
チキンスープの素…小さじ1/2 コショウ…少々
卵白…1個分 片栗粉…大さじ1 水…150ml
酒…大さじ1 チキンスープの素…小さじ1
砂糖…小さじ1/2 しょう油…小さじ1/2
片栗粉…大さじ1/2 水…大さじ1 三つ葉…少々

作りかた

- 鶏肉は小さくきって、更にたたいておく。しめじは石づきを除いてバラバラにし、にんじんは3cmの長さのせん切りにし、ニラは3cmの長さに切る。
- ①をごま油でさっと炒め、チキンスープの素とコショウを振る。
- 卵白を固く泡立てて、片栗粉を加え鶏肉と②を入れて混ぜる。
- ③を半量ずつつけてそれぞれラップにくるみ、電子レンジ(500W)で3分30秒加熱する。
- 鍋に水・チキンスープの素・酒・しょう油・砂糖を入れて煮立て、水溶性片栗粉でトロミをつける。
- ④に⑤をかけ、三つ葉を散す。

牛肉と小松菜のトウバンジャン炒め



熱量	たんぱく質	脂質	塩分	カルシウム
253kcal	17.0g	16.2g	1.5g	177.8mg

※ 1人当り栄養価

このレシピで取れる野菜の量 約115g
一日に必要な野菜の量 350g



材料 (2人分)

牛モモ肉うす切り…150g しょう油…小さじ1・1/3
みりん…小さじ1・1/3 小松菜…200g
赤ピーマン…30g しょうが…少々 サラダ油…大さじ1
豆板醤…小さじ1/3
【A】しょう油…大さじ1/2 みりん…小さじ1
だし汁…60ml
片栗粉…小さじ1

作りかた

- 牛肉は一口大に切り、しょう油・みりんの下味をつける。
- 小松菜は堅めにゆでて、4cmの長さに切る。
- 赤ピーマンはうすく切る。しょうがはみじん切りにしておく。
- フライパンに油を熱し、しょうがのみじん切りと牛肉を炒める。肉の色が変わったら豆板醤・ゆでた小松菜・うす切りにした赤ピーマンを入れて炒める。
- ④に【A】の材料を入れて煮立ったら、片栗粉を同量の水で溶いて加え、トロミをつける。

東郷神楽公演in佐々木家



10月22日(日)、釜地区の「重要文化財佐々木家住宅」において東郷神楽公演が開催されました。「湯立」・「随神」・「鹿島」の3演目が舞われ、間近で見る迫力ある舞と音色に来場者は見入っていました。鹿島で演じられる医者腹痛患者の掛け合いでは会場は大きな笑いに包まれました。

まなびのひろば

隠岐の島町教育委員会
TEL 08512-2-2206
Mail okidogo@mx.miracle.ne.jp

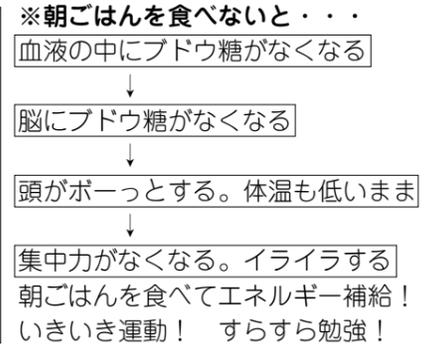


朝ごはんは大切なエネルギー源です！



朝ごはんを脳を働かせよう！

脳は睡眠中も休みなく働いているので、朝起きたときは脳のエネルギーが不足した状態になっています。朝食は、眠っていた体を起こし、脳へのエネルギー補給をする大切な食事です。



町の元気印 第8回

ながた あきひろ

永田明広さん

今回の元気印は、町の安全を見守る頼もしい警察官(中条駐在所勤務)であり、時にはギターを片手に弾き語りで町内を廻る、笑顔が素敵な永田明広さん。(写真右)

交通安全やSF商法(催眠商法)防止を呼びかける仕事に励んでいた永田さんは、ある時、もっとみんなが楽しみながら学べる方法はないかと思いついたのがギターの弾き語り。4年前から始めたという割には相当な腕前。そして、見事なアレンジによる替え歌で子どもたちからお年寄りに呼びかけます。

最近、隠岐のフォーク・ロック界の第一人者である広江政仁さん(写真左)とタッグを組み、その名も「フリコムーナ」(永田さんの長女命名)。振り込め詐欺防止をお年寄りに呼びかけるよう、替え歌でギター弾き語り！

「呼んでいただけたら、どこでも行きます！」と明るく話す永田さん。貴方の歌声で沢山の町民が救われます。これからもガンバレ永田駐在さん！



としよかん

隠岐の島町立図書館 開館時間 10時～18時
電話 08512-2-2341 閉館日(月曜日・第3日曜日・祝日)
FAX 08512-2-9198 祝日が月曜、第3日曜と重なった
メール s-tosho@mx.miracle.ne.jp 場合は翌日も閉館

しまね子ども読書フェスティバル in 隠岐の島町が開催される

子どもの読書活動を推進することを目的とした事業“しまね子ども読書フェスティバル”が隠岐の島町図書館で開催されました。

10月28日には境港市のおはなしポケットの会代表の足立茂美先生による幼児読書研修会とブックスタート研修会がありました。足立先生はご自分のお子様との体験なども交えながら、絵本のくり返し読みの大切さなどについて語られました。研修会には大勢の保育士さんの参加があり、普段子ども達に絵本の読み聞かせをする機会の多い保育士さんにとってほしい参考になるお話であったようです。

また、29日には詩集「てつがくのライオン」や、童話「ともだちは海のにおい」などの著書で有名な詩人の工藤直子先生の講演会があり、80名近くの参加者で会場は埋め尽くされ、先生の楽しく軽快なお話を楽しみました。時には感動的な心にしみるようなお話もあり、会場はたいへん盛り上がり、笑いとお話の講演会になりました。

なお、23日に予定されていた、斐川町立図書館館長白根氏によるまちづくりと図書館研修会は高速船欠航のため延期となり、11月16日に実施いたしました。

赤ちゃんを心豊かに育てる ブックスタート

現在全国584の自治体で地域ボランティアや図書館、子育て支援センター、保健センターなどが連携協力し、赤ちゃんに絵本を贈るブックスタートが行われています。

ブックスタートとは、地域に生まれたすべての赤ちゃんとその保護者に絵本をプレゼントし、同時に絵本を開く楽しい体験やあたたかなメッセージを伝えるという活動で、主に0歳児検診時などで行われます。

このブックスタートの活動について、研修会などを開き情報提供をすることで、住民の方々のご理解と関係機関との連携を深めていきます。

まちに生まれるすべての赤ちゃんに幸せを感じてもらえるように、また、保護者の方々にも安心して子育てができることを願っています。

隠岐の陸上人が全国区で大活躍

藤田佳克さん(隠岐高校実習主任)が、陸上界に貢献した人に贈られる「平沼賞」を受賞されました。藤田さんは、20年間陸上競技部顧問として、隠岐の陸上競技の発展・青少年育成に努められ、離島でありながら過去10回もインターハイに選手を送り出したことなどから、島根県高校体育連盟の推薦を受け、兵庫国体の席で受賞されました。

スポレク全国大会で優勝など好成績

また、「スポレク鳥取2006マスターズ陸上競技大会」において、大庭梅香さんが、(65才代の部)800M優勝・1,500Mで2位に。村上龍二さんが、(50才代の部)200Mで3位と、素晴らしい成績を収められました。

H18年度島根県スポーツ指導者セミナー(隠岐会場)が開催されました。

島根県教育委員会、島根県体育協会の主催により、10月29日に島根県少年スポーツ指導者セミナー(隠岐会場)が西郷小学校で開催されました。

「子どもの体力・運動能力が危ない!!」「みんな子どもたちの運動・スポーツのあり方を考えてみましょう。」というタイトルで学校教員、スポーツ少年団指導者、スポーツクラブ指導者、体育指導委員、保育士、幼稚園教員等40名の参加者が集まりました。講師にはコーディネーショントレーニングの第一人者である順天堂大学の東根明人先生をお迎えし、実技及び講義が行われました。

コーディネーショントレーニングは、一般にスポーツ選手について「あの選手は身のこなしがよく運動神経が優れている」とか「状況判断がいい」「ボールさばきがうまい」といった表現をします。

子どもたちの動きに目をやるとバランスをとるのがうまい子やリズムに合わせ体を動かすことが得意な子がいます。このような人たちの動きに隠されているのが「コーディネーショニング能力」であり、この能力を高めようとするのが「コーディネーショントレーニング」です。

今回は、年齢に応じた遊びを中心とした実技(バスケットボール、テニスボール、フラフープを使用)を通して、内容を確認し合いました。

参加者の感想として「学校の授業に役立てたい。」「運動経験の多い子どもとそうでない子どもの差がどんどん広がっていることを感じている。コーディネーショニングの少ない子どもも気軽に取り組むことの出発点が多く、普段の授業でもやってみたい」と影響が多くあり、学校現場やスポーツクラブ等に活かされることと思えます。

中村地区 しらしま祭で大賑わい

10月29日(日)中村中学校と中村小学校をメイン会場に、武良自治会による2年に1度の「しらしま祭」が開催されました。昨年はこの時期に「武良祭風流」が行われており、交代での開催となります。今年も、屋台の出店も多く、中村以外の地域からも参加がありました。文化部門展示では、日頃の地域活動や、大事な宝物の展示などがありました。今回の目玉イベントとなった、古着などをリニューア



サザエのつかみ取り
かつらをかぶるとサザエ1個おまけ!

ルしたオリジナル衣装のファッションショー「パリコレ風武良コレ何コレショー」は大盛り上がりで、新たな取組みへと発展しそうな勢いです。午後3時からは、演芸部門があり、保育園・小学校・中学校の皆さんが大活躍しました。そして、民謡とフォークダンスメンバーの合同発表などがあり、大盛況で皆さん楽しい1日を過ごしていました。



ファッションショーでは大勢の
“スーパーモデル”が登場

11月3日(金)、ふせ塾(布施地域の児童・生徒)による「アジ釣り大会」が布施防波堤で行われました。当日は、学校行事と重なったため参加者は少なかったものの、中には親子で参加された方もあり、にぎやかな釣り大会となりました。開始から1時間近くはあまり釣れず心配しましたが、5時を過ぎた頃から釣れ始め沢山のアジを釣ることができ、子供達の顔もにっこりと満足そうに見えました。



11月8日(水)には、婦人会の方達による「トウテイラン」の種蒔きが、浄土ヶ浦周辺で行われました。五箇・西郷の婦人会長さん方も来られ、総勢21名でスムーズに作業をすることが出来ました。トウテイランは絶滅のおそれがある貴重な植物で、7月から10月にかけて青紫色の花を咲かせるそうです。花の季節には是非お出掛け下さい。ついでに足を伸ばして浄土ヶ浦へも。眺めの良い素晴らしい所ですよ!

布施地区 アジ釣り大会
トウテイラン種まき

五箇地区 ウォーキングで気分も爽快



10月29日(日)、さわやかな秋空の下「おきのあぶらぎくウォーキング」が行われ、参加者の皆さんが気持ちよい汗を流しました。当日は西郷や都万地区から参加された方も含め40名近い皆さんが参加され、朝から集合場所の水若酢神社で健康チェックや準備体操をした後、ウォーキングに出発しました。

コースは、郡ガムを周回し出発点に戻るもので、約4キロメートルの道程です。ダム周辺には今回のウォーキングの名前の由来となった「オキノアブラギク」が点在して咲き、その黄色い可憐な花に参加者もしばし足をとめて観賞している姿も見られました。まだ少し本番には早いものの周辺には紅葉もあり、秋を全身で感じてのウォーキングとなりました。1時間あまりで全員無事帰り、参加者のみなさんの顔にもすがすがしさが感じられました。また、食生活改善推進協議会の五箇支部の皆さんから「豆腐プリン」のサービスや、出発前に行った「健康クイズ」の賞品の授与があり楽しく健康的な1日でした。皆さんも、健康づくりに「ウォーキング」をはじめてみませんか。

西部地区活性化推進協議会と都万公民館分館では10月28日(土)に油井水仙ロード、油井の池周辺の草刈ボランティア活動を約20名の参加を得て実施しました。油井水仙ロードはこれまで油井区や油井水仙グループの皆さんにより美化活動が行われてきましたが、高齢化などによりその活動が負担となってきました。今回町民の皆さんの協力を得て実施しました。今後と同様にいきます。



で、ご協力をお願いします。油井の水仙は県道西郷都万郡線の横尾トンネルから油井地区までの約2キロメートルの道路沿いに自生したもので、油井区や水仙グループが植栽したものがたくさんあります。毎年12月から2月頃までが見頃です。是非おいで下さい。また、隠岐の島町ホームページでは開花情報を掲載しますのでご覧下さい。

都万地区 もうすぐ見頃、油井の水仙



放送大学4月入学生募集

放送大学では、平成19年度第1学期（4月入学）の学生を募集中です。放送大学はテレビやラジオの放送を利用して授業を行う通信制の大学です。心理学・福祉・経済・歴史・文学など、幅広い分野を学べます。キャリアアップのため、生涯学習や退職後の生きがい作りとして、幅広い世代・職業の方が学んでいます。

15歳以上の方なら、1科目から学習する選科履修生・科目履修生として入学できます。

18歳以上の大学入学資格をお持ちの方なら、無試験で全科履修生として入学でき、4年以上在学して、124単位を取得し卒業すると、学士（教養）を取得できます。

体系的にひとつの分野を学べるように大学が指定した科目群から一定数単

位を取得した方に認証状を差し上げます。さらに専門的に学びたい方には、大学院も併設しています。資料を無料で差し上げています。お気軽にお問い合わせください。お募集期間
12月15日～2月15日
資料請求・お問い合わせ先
放送大学島根学習センター
電話 0852-2815500

お役に立ちます「国の教育ローン」

「国の教育ローン」は、入学金や授業料等、入学時や在学中に必要な資金を年間を通じてお取り扱いしています。

入学資金のお申し込みは、合格が決まる前からでもお手続きができます。進学志望校が決まりましたらお早めにご相談ください。ご利用いただける方

ご融資の対象となる学校に入学・



在学される方の保護者で、世帯の年間収入が990万円（事業所得者については770万円）以内の方

融資金額
学生・生徒お1人につき200万円以内

利率
年2・45%（平成18年9月13日現在）返済期間
10年以内

●交通遺児家庭または母子家庭の方にについては、1年の延長が可能です。

使いみち
入学金・授業料・教科書代・アパートの敷金・家賃など

保証
（財）教育資金融資保証基金または保証人（1名以上）

返済方法
毎月元利均等返済
●ボーナス月増額返済（ご融資額の2分の1以内）、ステップ返済（ご返済額を途中で増額）もできます。

返済額を途中で増額）もできます。



詳しくは、国民生活金融公庫松江支店または教育ローンコールセンターへお気軽にご相談ください。
国民生活金融公庫松江支店
電話 0852-2312651
教育ローンコールセンター
電話 05700008656
または 0353218656

自衛隊生徒募集のお知らせ

陸・海・空自衛隊では、若きエンジニアを養成し、優れた最新装備を駆使できる専門技術者を求めています。中学校卒業時に入隊し、3年間の高等学校教育終了時、陸上は神奈川県立湘南高等学校、海上は広島県立西高等学校、航空は私立科学技術学園高等学校の卒業資格を得た後、更に自衛隊の各種専門学校や部隊勤務を経て3等陸・海・

「人権週間」がはじまります

12月4日～10日

12月4日から10日までは「人権週間」です。昭和23年12月10日第3回国際連合総会で世界人権宣言が採択されて以来、国連ではこれを記念し、毎年12月10日を「人権デー」と定め、加盟各国では、基本的人権尊重の精神を徹底させるため、各種行事が行われています。

わが国では、12月10日の「人権デー」を最終日とする1週間を「人権週間」と定めていますが、法務省と全国人権擁護委員連合会では、今年は、次の強調事項を掲げて広く国民に人権思想の普及高揚を呼びかけています。

- 女性の人権を守ろう
- 子どもの人権を守ろう
- 高齢者を大切に作る心を育てよう
- 障害のある人の完全参加と平等を実現しよう
- 部落差別をなくそう
- アイヌの人々に対する理解を深めよう
- 外国人の人権を尊重しよう
- HIV感染者やハンセン病患者等に対する偏見をなくそう
- 刑を終えて出所した人に対する偏見をなくそう
- 犯罪被害者とその家族の人権に配慮しよう
- インターネットを悪用した人権侵害は止めよう

- 性的指向を理由とする差別をなくそう
- ホームレスに対する偏見をなくそう
- 性同一性障害を理由とする差別をなくそう
- 北朝鮮当局による人権侵害問題に対する認識を深めよう

「人権週間」に当たって、私たち一人ひとりが「人権」について今一度考え、明るく豊かな住みよい社会をつくりましょう。

なお、毎日の生活の中で、これは人権問題ではないだろうかと感じたり、法律上どのようになるのかわからないためお困りの方は、松江地方法務局西郷支局、又は、お近くの人権擁護委員にご相談ください。また、週間中、下記の日程で、特設人権相談所（無料・秘密厳守）が開設されますので、お気軽にご利用ください。詳しいお問い合わせは、松江地方法務局西郷支局（TEL08512-0240）までお願いします。

「人権週間」特設人権相談所開設日程

開催日	場所	実施時間
12月1日（金）	中里集会所	10:00～12:00
12月5日（火）	役場布施支所	13:00～15:00
12月7日（木）	中老人福祉センター	13:00～15:00
12月7日（木）	役場五箇支所	13:00～15:00
12月8日（金）	隠岐島文化会館	13:00～16:00

空曹に昇任します。

応募資格

17歳未満の中学校卒業見込みの男性
又は既卒の男性

採用試験

平成19年1月13日（土）
場所

自衛隊島根地方協力本部
（松江市学園1丁目の14）

島根県出雲合同庁舎
（出雲市大津町1139）

島根県浜田市合同庁舎
（浜田市片庭町254）

受付開始

平成18年11月1日（水）

応募締切

平成19年1月9日（火）

お問い合わせ

自衛隊島根地方協力本部隠岐の島駐在員事務所
電話 0851228351

「就職フェアしまね」を開催します

平成19年3月大学・高等専門学校・各種専修学校を卒業する方（平成18年3月大学等を卒業後、未就職の方も含まれます）を対象に、県内企業による面接および情報提供、パソコンによる適職自己検索、資料展示等を行います。

開催場所および日時

会場 くまびきメッセ（松江市）

日時 平成19年1月13日（土）

※入場無料で事前申し込みは不要で

す。参加を希望される方は直接会場までお越しください。

問い合わせ先

〒6900003
松江市朝日町498-6
松江駅前第一生命ビル3階
（財）ふるさと島根定住財団 ジョブカフェしまね
電話 0852280691
FAX 0852280692
URL <http://www.teiju.or.jp/>

終戦当時の引揚者の方々へ 通貨・証券などをお返ししています

税関では、お預かりしている次の通貨・証券などをお返ししています。

●終戦後、外地から引揚げてこられた方が、上陸港の税関、海運局に預けられた通貨・証券など

●外地の終結地において総領事館、日本人自治会などに預けられた通貨・証券などのうち日本に返還されたもの

返還の申し出は、ご本人ばかりでなく、ご家族の方でも結構です。お心当たりの方は、上陸港を所轄する税関または境税関支所へお問い合わせください。

境税関支所

〒6840034

境港市昭和町9番地

境港港湾合同庁舎

電話 0859422228
FAX 0859423893

2006年12月 隠岐の島町行事予定

日	月	火	水	木	金	土
11/26	11/27	11/28	11/29	11/30	1	2
3	4	5	6	7	8	9
みんなで作る発表会 (文化会館)13:00~16:00 第1回隠岐の島町水泳 競技会(屋内温水プール) 郵便局長杯バレーボール大会 (レインボーアリーナ)	人権週間 ~10日まで	人権相談 13:00~15:00 (役場布施支所)	第1回高血圧教室 14:00~15:30 (ふれあいセンター)	人権相談 13:00~15:00 (中老人福祉センター ・役場五箇支所)	人権相談 13:00~16:00 (文化会館)	
10	11	12	13	14	15	16
西郷地区体協杯 バスケットボール大会 (レインボーアリーナ) 第15回しおかぜ駅伝 (浜田-益田間駅伝競走大会 隠岐から2チーム参加)		隠岐の島町議会 定例会 (~20日まで)	隠岐の島町議会 一般質問			
17	18	19	20	21	22	23
中林杯バドミントン 大会 (レインボーアリーナ)				年金相談 13:00~16:30 (ふれあいセンター)	年金相談 9:30~12:00 (ふれあいセンター) 隠岐法律相談 13:00~15:00 (文化会館) 第2回高血圧教室 14:00~15:30 (ふれあいセンター)	天皇誕生日
24	25	26	27	28	29	30
			あったかスクラム 体験活動	役場仕事納め (12月29日~1月3日 まで閉庁) 図書館閉館 (~1月4日まで)		
31	1/1	1/2	1/3	1/4	1/5	1/6

各種相談窓口

児童・女性・母子相談：隠岐福祉事務所 TEL 2-9810 平日8:30~17:00
 生活保護相談：隠岐福祉事務所 TEL 2-9708 平日8:30~17:00
 保健所相談窓口：隠岐保健所 TEL 2-9701
 島根いのちの電話：社会福祉法人島根いのちの電話事務局 TEL 0852-32-5985 毎日 9:00~22:00
 警察の相談窓口電話：被害者相談 TEL 0120-556-491
 悪質商法 TEL 0852-27-4649
 性犯罪 TEL 0120-110-267
 ストーカー TEL 0852-24-9110
 隠岐法律相談窓口予約受付：TEL 0852-21-3450
 ※前日17:00までに予約が0件の場合は開催しませんのでご了承ください。

**お気軽に
ご相談下さい!!**

「町長への手紙」 ご意見と回答

今年の本誌5月号と11月号で、「町長への手紙」として町政へのご意見を募集しました。そのご意見と回答の一部をご紹介します。

●ご意見・乳幼児を遊ばせる場所が少なく、屋外施設は雨天や強風では使えず、屋内施設も子育て支援センターは使える時間が短く不便。気軽に遊びに行ける場所が必要である。

回答・子育て支援センターは18年度より月2回ですが、水曜日に午後1時から4時まで開放することといたしました。また、乳幼児の遊べる施設については、隠岐の島町総合体育館(レインボーアリーナ)の幼児体育室に簡単な遊具を備えて無料で利用できるようになっていきます。

●ご意見・八田橋から隠岐病院までの道路は交通量が多いが歩道がなく、安心して歩けない。お年寄りや小さな子供も多く危険。歩道を整備してほしい。

今後、保育所等の統廃合も計画されていますので、残った施設につきまして、ご意見を参考に有効利用していきたいと思っております。



回答・ご指摘のとおり交通量も多く歩道は必要であると認識しておりますが、財政状況の非常に厳しい中、道路の両側に住宅が立ち並び住宅の立ち退き等で事業費が莫大になることから、現段階では難しく、平成21年以降の整備計画となる見込みです。

●ご意見・コウノトリについて。万一、怪我や病気をした場合は、獣医、薬剤、病室はどのようになっているか。また不心得者が危害を加えた場合の罰則規定はあるのか。

回答・ケガや病気については、県か市町村が保護し、一次的には、隠岐の島町在住の獣医師が診察・治療します。町在住の獣医師で対応できない時は、県指定の獣医師へ搬送↓治療↓回復↓放鳥の手順となりますが、コウノトリは、種の保存法では希少野生鳥獣に、文化財保護法では特別

天然記念物に指定されておりますので、保護後30日以内に環境大臣へ報告、治療中は文化庁長官へ個体の処置・状況・今後の予定等を報告します。

また罰則規定については、コウノトリは鳥獣法、種の保存法、文化財保護法等で保護されており、危害を加えた場合、適用される法令に従って罰せられることとなります。鳥獣法及び種の保存法では、1年以下の懲役または100万円以下の罰金、文化財保護法では、5年以下の懲役または30万円以下の罰金という罰則規定があります。

●ご意見・高齢者が多くなり人口が減る中で若い家族は本土に住むようになる。人口を増やすための配慮を町政に期待したい。

回答・厳しい経済環境の中で、産業の振興と雇用の確保は言うまでもなく喫緊の課題であります。島の基幹産業である第一次産業と観光事業をも一度足元から見直し、振興を図っていかねばならないと考えております。一朝一夕に解決できる課題ではありませんが、何とかその方向性を見つけて出したいと考えています。

今年4月より、新組織に定住対策室を新たに設置し、新産業の創出や企業誘致、雇用・定住対策などについて、住民の皆様と一緒に協賛・検討を進めてまいります。

町長へのご提言は...

隠岐の島町では町民の皆様の声を町政に反映するため、広くご意見を募集しています。

●町長への手紙

町内各集会所には、町長への手紙の用紙が置いてあります。記入後、封書に折りたたんでのりづけし郵送していただくようになっています。隠岐の島町ホームページでも受け付けておりますのでご利用ください。住所・氏名を明記されたものについてはご回答いたします。

●出前町長室

グループ或いは地区で、町長と直接話をしたい、提言したいというご要望がありましたら、出前町長室として町長がお伺いします。

お申込みは本庁総務課(広報広聴係)へ、代表者(ご連絡先、希望日、グループ名、地区名、会場など)をお知らせください。町長の日程など、都合について打ち合わせをさせていただきます。

お申し込み・お問い合わせは
 役場本庁総務課広報広聴係
 電話 2-2111
 FAX 2-6005



秋景

赤や黄色に色づき始めた山影が、中村川の水面を静かに彩ります。11月も半ばに入って急に冷え込んできましたが、まだ紅葉の方は本調子ではないようです。



C-1輸送機に乗り込む避難住民役の職員

「もしも」の時に備え： 国民保護訓練実施

11月16日（木）、隠岐の島町内で島根県国民保護訓練が実施されました。

これは、島根県国民保護計画の実効性の向上を図るため、「隠岐の島町内で化学剤を所持した国籍不明の武装集団が隠岐諸島に上陸し、ダムを占拠して化学剤の大量散布を示唆した」と想定して行われたものです。

午前中には図上訓練として県と市町村、関連団体との連絡体制の確認などを行い、午後からの実地訓練では島根県や隠岐の島町の職員がふんする模擬住民約1000名を一時集合場所から移送し、隠岐汽船のフェリーや隠岐海上保安署の巡視船、航空自衛隊C-1輸送機、鳥取県の防炎ヘリコプターなどに乗船・搭乗するまでの訓練を行い、緊急時の対応を確認しました。

総合誌隠岐の島12月号

(通算第26号)

■編集・発行

隠岐の島町役場総務課広報広聴係

〒685-8585

島根県隠岐郡隠岐の島町城北町1番地

TEL(08512)2-2111 (代表)

FAX(08512)2-6005

■ホームページ

<http://www.town.okinoshima.shimane.jp/>

■Eメール

jouhou@town.okinoshima.shimane.jp

一・月・一・話

「秋の日は釣瓶落とし」といいます。冬に近づくにつれてだんだん日が短くなって、このころは昼を過ぎたと思ったらすぐにあたりは真っ暗。まさに釣瓶落ちるがごとし。真冬よりも日が短く感じるというのは妙ですが、夏の感覚がまだ残っているのか、それとも冬至に近くなる頃には夜長に慣れてしまっただけのことわざが残っているくらいです。昔の人も同じ事を考えていたのでしょうか。時間に追われる現代人などと言われますが、実は今も昔も感覚はさほど変わっていないのかもしれません。

時間の感覚というのはいい加減なもので、楽しい時には恐ろしく早く過ぎるのに、逆だとなかなか時計の針が進みません。かと思えば、「光陰矢のごとし」のたとえ通りあっという間に年月が過ぎていたりします。

隠岐の島町が発足してから2年が過ぎました。まさに矢ののごしの心境ですが、普段の会話で旧町村の名前が出たりするとまだ2年しか経ってないんだな、と思わされることもあります。皆さんはいかがでしょう。

(安)